

令和2年度(2020年度)「私学の魅力アップ事業」実施概要

事業種	学校名	事業名	事業計画	ジャンル	事業の目標	事業の効果・成果	備考
1	熊本中央高等学校	高校生と企業のコラボ商品開発販売	・生徒と企業によるコラボ商品の製造開発販売	商品開発	生徒が実践的な経験をすることにより、社会人としての基礎力や表現力を身に付けさせる。	・生徒たちは、活動を通して協調性・積極性・責任感を身につけるとともに、目標に向かって一生懸命に取り組むことの大切さを学んだ。 ・社会人としてのマナーや立ち振る舞いを身につけた。	
2	真和高等学校	真和リベラルアーツ(教養教育)	・先進事例の視察等や職員全員による研究によりスクールアイデンティティの構築とカリキュラムの骨子づくりを行う。 (先進地視察は、コロナの影響で実施見送り)	研修・研究	スクールアイデンティティの構築を目標に、意思決定力や問題解決能力、ソーシャルスキル、およびIoT/ICTスキルを身につけさせる。将来的には文科省のワールド・ワイド・ラーニング(WWL)の事業参画を目指す。	・具体的な「魅力あるカリキュラム作り」のバックボーンができ、全職員の目線合わせができた。 ・新しい入試制度にスムーズに対応できた。	次年度継続予定
3	慶誠高等学校	熊本から発信 ころをつなぐ復興銘菓を作ろう	・熊本と7月豪雨被災地域の特産品を使用したコラボレーション菓子の商品化	商品開発	生徒に自分のもつ可能性を発見させるとともに生徒の自信や自尊心を養う。	・コロナの影響や豪雨災害等で何度も計画変更を余儀なくされたが、クラス一丸で取り組んだ結果、製造委託会社が決まるところまでこぎつけた。 ・生徒間で協力して活動することが多く、相互理解が深まり、結果が伴うことで自己肯定感と主体性の向上ができ、またボランティアへの参加も増えた。	2年目
4	ルーテル学院高等学校	地域課題解決探究プログラム	・他校生と共同した地域課題解決ワークショップとプレゼンテーションの実施 ・早稲田大学大隈塾を招いてのワークショップの実施	キャリア教育	生徒の「社会人基礎力」の醸成と、自らの人生に対してオーナーシップを持って選択と決定を行う素地の養成を目指す。	・多くの生徒が「表現力」や「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の成長を実感した。 ・生徒達は、活動を通して、熊本の魅力や地域の温かみなどを再発見した。 ・新たにボランティア活動に参加する生徒が出てきた。	
5	熊本マリスト学園高等学校	マリスト・ルーブリック事業	・ルーブリック評価の作成・実施	研修・研究	生徒一人一人の価値観やスキルの到達度を把握し、適切な指導・支援をしながら生徒の能力の伸張を図る。	・検討を重ねて作成した指標が、学校の教育目標に照らし妥当であること、信頼度が高いこと、ひいては生徒の真の学力向上や学校の教育力の底上げに有効であることが確認できた。 ・指標を意識した行動規範が生徒に少しずつ浸透している。	2年目
6	東海大学付属熊本星翔高等学校	支援を要する生徒への学習支援事業	・学習支援員を配置し特別補講等による生徒の学習支援を実施	学習支援	特別支援対象生徒や不登校生徒への支援体制を強化し、東海大学への進学を勧め一貫教育ならではの支援の継続を目指す。	・きめ細やかな行動支援・学習支援により、関わった全ての生徒の進級に繋がった。 ・外部の支援機関との連携が取れるようになった。	
7	玉名女子高等学校	生徒の多様な進路選択を保障する事業 Vol. 2 ～持続と発展(普通科編)	・国内の留学生を招いた校内留学キャンプを実施 ・福岡市の大手進学予備校の授業体験、キャンパス見学	キャリア教育 商品開発	受験を意識した環境づくりや大学見学等により日常の学習、進路意識をあげる(特に英語)。	コロナの影響により活動見送り	
8		生徒の多様な進路選択を保障する事業 Vol. 2 ～持続と発展(ビジネス科編)	・大学や専門学校の協力により画像処理技術や実践的簿記・会計を学ぶとともにプロの漫画家による特別講義を受ける		大学や専門学校での専門性の高い技術講習を受講し生徒たちの意欲を喚起する。	・生徒の専門学習意欲や意識が大きく向上した。 ・実際のプロの話が生徒にとってイメージしやすく、自分の進路のイメージができた。 ・専門教科の社会での必要性と活用法を知ること、日々の学習の大切さを理解できた。	2年目
9		生徒の多様な進路選択を保障する事業 Vol. 2 ～持続と発展(食物科編)	・地元洋菓子職人による技術指導とオリジナル菓子作成		製菓技術、創作意欲を高められるような講義を実施し、生徒の進路選択の幅を広げる。	・生徒たちのデコレーション技術、モンターージュ技術の向上に繋がった。 ・プロの技のみではなく仕事に対する心構えに触れ、食物に対する感謝など、精神面での成長も見られた。	2年目
10		生徒の多様な進路選択を保障する事業 Vol. 2 ～持続と発展(学びの「見える化」編)	・サマーコンサート、卒業演奏会の開催 ・地元住民への「ふれ愛弁当」作成、配膳		生徒達の成果を効果的に発信し、生徒募集や学びの成長に繋げる。	コロナの影響により、サマーコンサートや「ふれ愛弁当」の配布は中止となったが、感染防止対策をとったうえで卒業演奏会や卒業制作展を実施。	2年目
11	菊池女子高等学校	Diversity(多様性)の学び	・英会話アプリの活用や校内での国内留学による英語力向上 ・海外の高校生との討論会の実施 ・着付け・女子舞・茶道・ゴミ分別の仕方などの日本紹介動画作成	キャリア教育	多様な文化的背景を持つ人々から多様な価値観を学び、人間力や適応能力を育成しグローバル人材を育成する。	コロナの影響により、異文化交流会などの対面での行事はあまりできなかったが、アメリカ、ドイツ、インド、ジョージア(グルジア)などの中高生とオンラインを通して英語で交流を行った結果、違う価値観や習慣をもつ生徒たちと出会い、他者と協力して生きる(Diversity:多様性)の学びができた。	次年度継続予定
12	専修大学玉名高等学校	持続可能な開発目標(SDGs)と探求学習で次世代を育てる取り組み	SDGs公認ファシリテーターの講演と自己学習および生徒達によるディスカッションを行う。(教職員の事前研修も実施)	キャリア教育	グローバルな視野を備えた次世代のエンパワーメントに貢献できる人材育成を目指し、「学び続ける力」の育成により自己実現に挑む意欲を育む。	・生徒は、自分が取り組んできたことの一部がSDGsに繋がっていることを理解し、生徒自身のSDGsに対する意識・行動を変える契機となった。 ・これまでの活動の報告会を行い、その場で専大玉名高校SDGs宣言「SDGs One Step(専大玉名の一步から世界へ)」を行った。	次年度継続予定
13	城北高等学校	地域活性化プロジェクト(普通科普通コース)	・鹿本うちわ(オリジナルうちわ)を製作し老人福祉施設で配布 ・山鹿カルタを作成し、地元の保育所等で大会を行う。	キャリア教育 商品開発	生徒の主体性を引き出し、生徒自らが学び得た知識や能力で、地域における課題を発見し、解決に向け能動的に実行していく活動をとし、地域に根差し、貢献していく人材を育成する。	コロナの影響により人数制限はあったが、地域の方も招いて実行した「Jミッション」イベントを通じ、生徒達は、地域貢献の大切さを学び、自信を深め自己肯定感を高めた。 山鹿市オリジナル運動プログラム「山鹿とろうろくエクササイズ」について実践で学び、Jミッションイベントや小学校での授業実践などの普及活動に取り組んだ。 コロナの影響により、市役所・商工会への訪問はできなかったが、Jミッションの企画、運営、実施を行い、またこの取組について山鹿市広報誌への連載記事掲載などの広報を行った。 コロナの影響により、高齢者施設等への訪問は見送ったが、学習した血圧測定や手浴・足浴などの技術を、普遊びで交流を深めながら、Jミッションイベントで実践した。 コロナの影響により地元高齢者への配布は実施できなかったが、地元の食材を使った弁当メニューを開発し、Jミッションイベントで販売、また地元の協力店へランチメニューを提供。 まずは山鹿市の現状を把握し福祉マネジメントの趣旨を理解する学習を行い、Jミッションイベントでは介護レクレーション体験など7つのブースを設けて、福祉の魅力や少子高齢化の課題解決に向けた地域との交流を実施。	
14		地域活性化プロジェクト(普通科スポーツ科学コース)	・各団体や山鹿保健所と連携し「山鹿とろうろくエクササイズ」の普及等を行う				
15		地域活性化プロジェクト(普通科特進コース)	・市役所や商工会を訪問し地域の実態把握やニーズ調査を実施 ・各学科の取組みの集約、広報等を行う				
16		地域活性化プロジェクト(看護科)	・地元の高齢者の施設等を訪問し、メディカルチェックやコミュニケーションを図る活動を実施。				
17		地域活性化プロジェクト(調理科)	・地元高齢者へ、栄養面を考慮した弁当を作成配布する。 ・地元料理家とともに地元の食材研究や商品開発を行う。				
18		地域活性化プロジェクト(医療福祉科)	・高齢者を招いてのサロン実施や地域資源と連携した取り組みを実施。				